

保健医療学部看護学科カリキュラムマップ

【設置の趣旨・必要性】

- 地域医療、そして地域に住まう人々の健康増進を幅広く支援できる看護師の養成のため、保健師課程を選択制として設け、看護師のみを目指す学生に対しても、地域全体を見る視点、チーム医療の視点、在宅看護、個人に対するフィジカルそしてメンタルアセスメント力の修得など、公衆衛生、地域医療に関する看護教育を充実させ、今日までの地域の看護人材育成と安定供給を担ってきた看護学校を4年制大学へと発展させ、これからの時代に求められる知識、技術、姿勢をあわせもつ看護専門職業人育成を実現する。
- 医療・介護などのさらなる機能分化と連携強化を推進することで、ますます進行する超高齢化社会に対応できる医療体制の構築を目指し、質の高い看護職員の養成と供給を強化していき。
- 地域の大学における看護教育を希望する学生の高いニーズに対応する。
- 高齢化に対して、急性期医療と在宅医療の両立により患者の「くらし」を重視した看護ケア体制を整備するため、幅広い知識と教養を身につけたジェネラリストの基盤となる看護基礎教育が十分行き届いた人材の確保に向け、地域の将来のための看護教育と人材輩出の役割を担う。

【養成する人材像】

顕在または潜在する健康問題を抱える対象の反応をアセスメントし、その人にとって望ましい看護ケアの提供の実現に向けて、看護師として求められる知識、能力とともに、病を抱える人や老いを生きている人の心身の痛みと共に共感できるしなやかで繊細な感性と、人としての深さを併せもち、幅広い領域で求められる看護ケアを的確かつ柔軟に提供できる看護専門職業人を育成する。(DP①～⑧)

